

# 石狩・後志・南空知・胆振・日高地域の概要



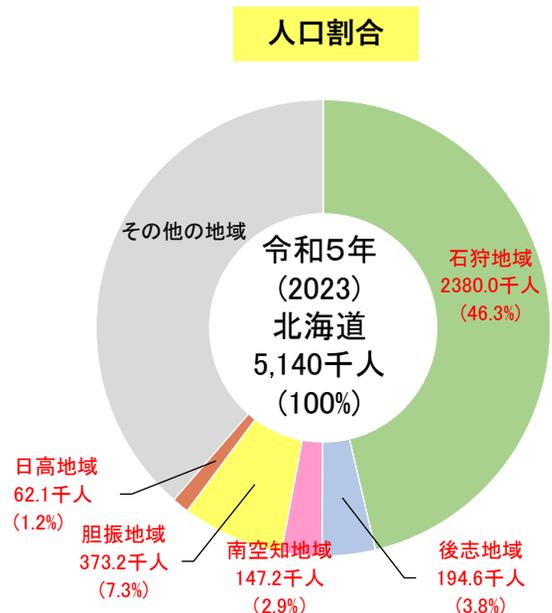
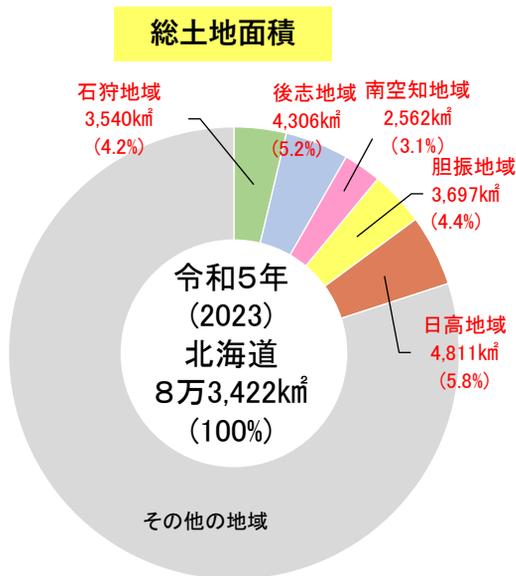
**北海道農政事務所  
札幌地域拠点**



## 第1 地域の概況(続き)

- ◇総土地面積は1万8,916km<sup>2</sup>（石狩：3,540km<sup>2</sup>、後志：4,306km<sup>2</sup>、南空知：2,562km<sup>2</sup>、胆振：3,697km<sup>2</sup>、日高：4,811km<sup>2</sup>）で、北海道の22.7%（同：4.2%、同：5.2%、同：3.1%、同：4.4%、同：5.8%）を占めている。
- ◇総人口は約315.7万人（同：238.0万人、同：19.5万人、同：14.7万人、同：37.3万人、同：6.2万人）で、北海道の総人口の61.4%を占めている。石狩地域は約238万人で、北海道の46.3%を占めており、うち札幌市の人口は約196万人で、62.1%を占めている。

\* 「南空知地域」の値は、南空知地域の市町村を合算（秘匿措置が講じられている市町村を除く。）したものである。（また、他のページについても同様である。）



資料：国土交通省国土地理院「令和4年全国都道府県市区町村別面積調(令和5年4月1日)」  
注：四捨五入のため、計と内訳が一致しない場合がある。(以下同じ。)

資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和5年1月1日)」

## 第2 農業の概要

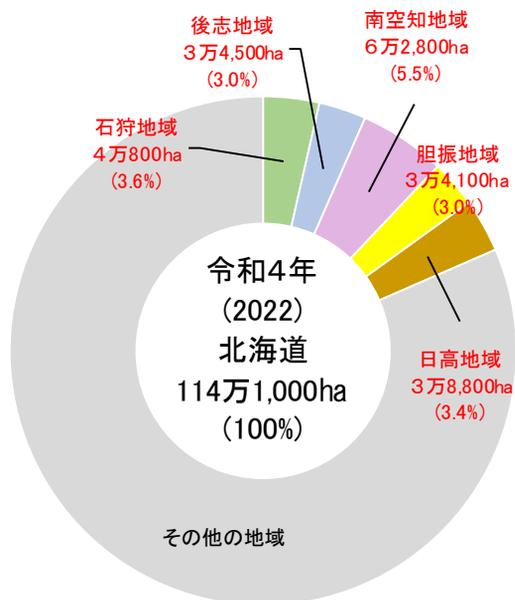
- ◇耕地面積は北海道の約2割を占めており、田は道内の約4割、畑は道内の約1割を占めている。また、それぞれの地域の気象条件を活かした多種多様な農業経営が展開されている。
- ◇「石狩地域」では、稲作を主体に、転作田による小麦、大豆、野菜、花きとの複合経営化が進んでいる。
- ◇「後志地域」の南部では畜産、北部では果樹作や施設園芸作（ミニトマト）を中心とする、幅広い農業生産が行われている。
- ◇「南空知地域」は、北海道有数の水稻の作付地帯であり、近年は、省力化、低コスト化を目指した「直播栽培」の面積が増加している。また、品種改良や栽培技術の向上等により、子実用とうもろこしの栽培体系が確立したこともあり、国産濃厚飼料の自給率向上に寄与している。
- ◇「胆振地域」では、温暖な気象条件を活かした露地野菜、高級菜豆、果樹などの多様な作物が生産されている。
- ◇「日高地域」は、全国一の軽種馬生産地であるばかりでなく、北海道としては温暖な気候を活かしたトマト、ピーマン、夏いちごなどの生産も盛んである。

# 1 農業構造の状況

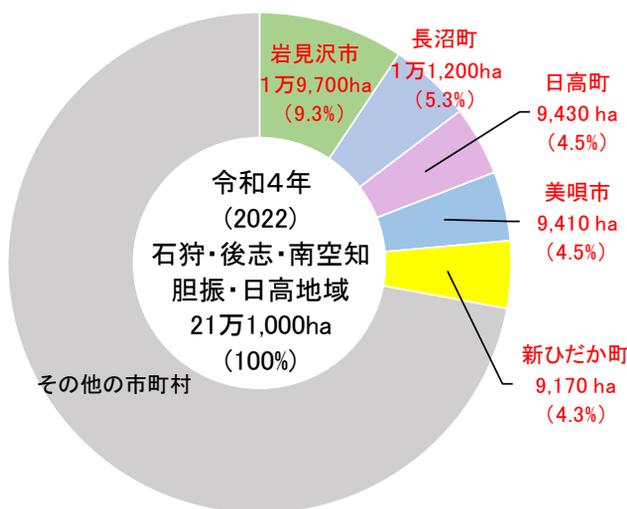
## 耕地面積（1）

- 耕地面積は21万1,000ha（石狩：4万800ha、後志：3万4,500ha、南空知：6万2,800ha、胆振：3万4,100ha、日高：3万8,800ha）で、北海道の18.5%（同：3.6%、同：3.0%、同：5.5%、同：3.0%、同：3.4%）を占めている。
- 市町村別の耕地面積は、大きい順で、岩見沢市、長沼町、日高町、美唄市、新ひだか町の順となっている。
- 全地域において、水稻の作付面積が大きな割合を占めている。

### 耕地面積の割合



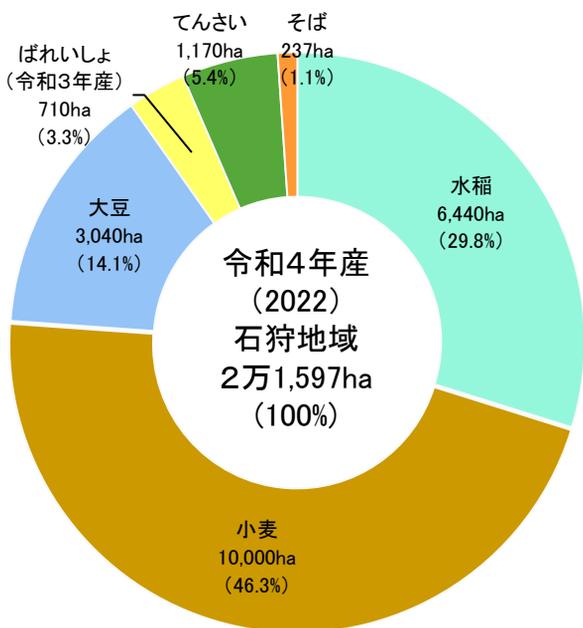
### 市町村別の耕地面積割合



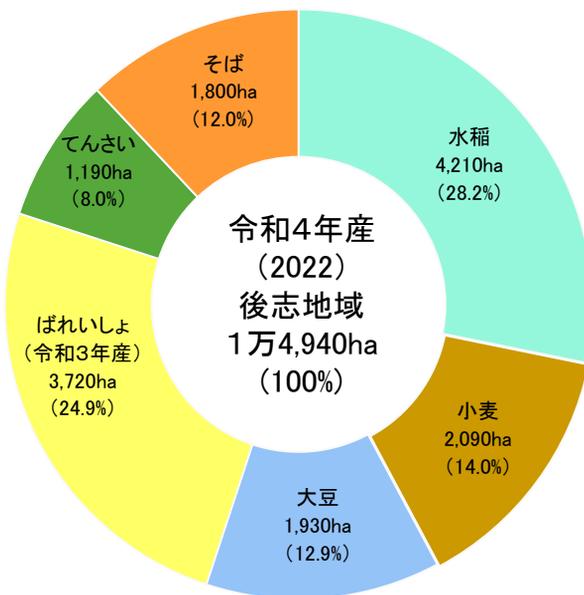
資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」

資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」

### 「石狩地域」主要農作物の作付面積



### 「後志地域」主要農作物の作付面積



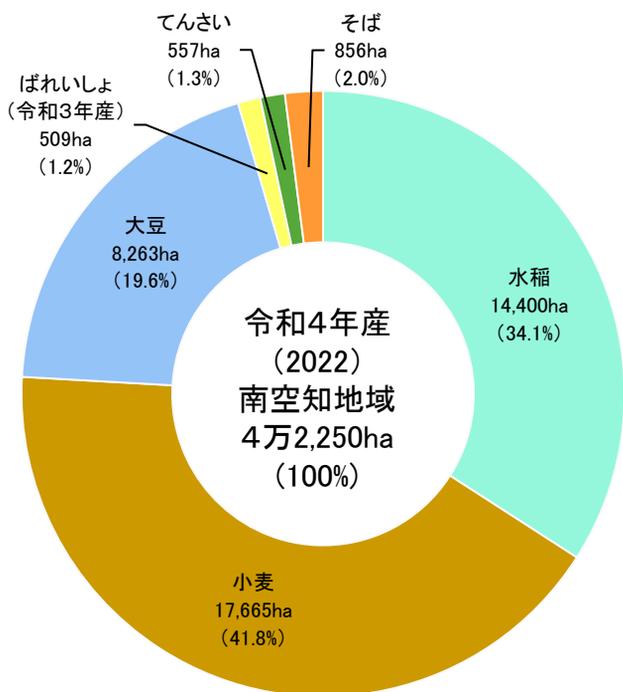
資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」  
注：ばれいしょは、令和3年産の値である。

資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」  
注：ばれいしょは、令和3年産の値である。

# 1 農業構造の状況

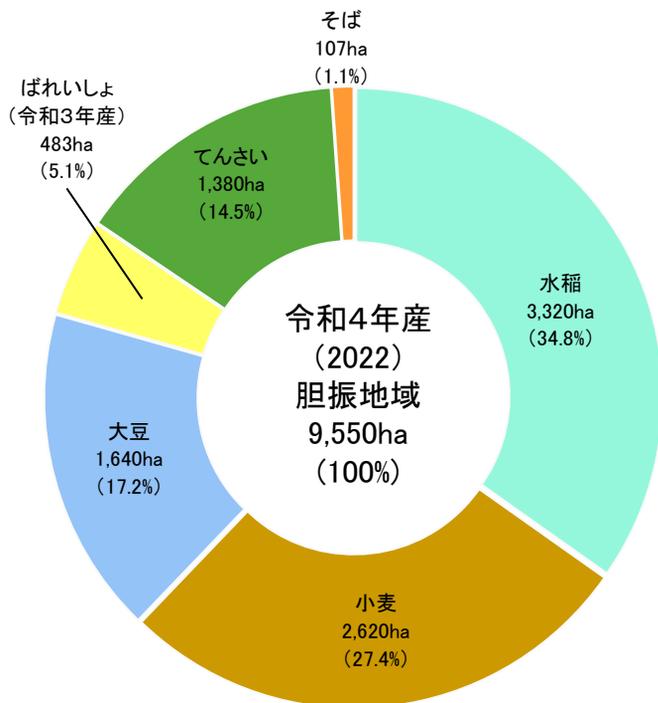
## 耕地面積（2）

### 「南空知地域」主要農作物の作付面積



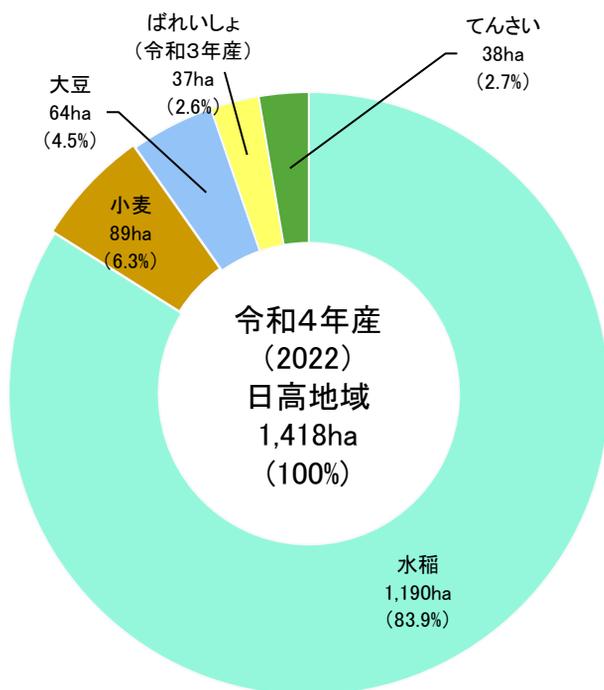
資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」  
注：ばれいしょは、令和3年産の値である。

### 「胆振地域」主要農作物の作付面積



資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」  
注：ばれいしょは、令和3年産の値である。

### 「日高地域」主要農作物の作付面積



資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」  
注：ばれいしょは、令和3年産の値である。

### トピック

子実用とうもろこしは、連作障害の軽減、労働時間の短縮や国産飼料増産に伴う食料自給率向上を目的として南空知地域や胆振東部地区を中心に生産が拡大しています。



子実用とうもろこしの刈り取り。



刈り取った子実用とうもろこしをトラックで運搬します。



子実用とうもろこしを乾燥させます。

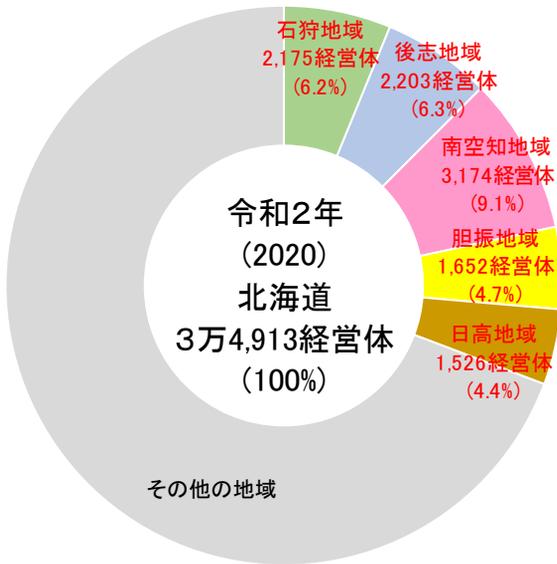


乾燥調製した子実用とうもろこしをサイロで保管します。

## 農業経営体

- 農業経営体数は1万730経営体（石狩：2,175経営体、後志：2,203経営体、南空知：3,174経営体、胆振：1,652経営体、日高：1,526経営体）で、北海道の30.7%（同：6.2%、同：6.3%、同：9.1%、同：4.7%、同：4.4%）を占めている。
- 農業経営体数は、2010年（1万4,502経営体）から2020年（1万730経営体）の10年間で、3,772経営体が減少。
- 農産物販売金額1位の部門別経営体数割合は、稲作（30.4%）、露地野菜（15.6%）、施設野菜（13.1%）の順となっている。
- 個人経営体における年齢別農業従事者は、60歳以上が全体の56.3%となっている。

## 農業経営体数の割合



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

## 農業経営体数の推移

### <個人経営体>

	石狩	後志	南空知	胆振	日高
2010年	2,757	2,758	4,038	2,036	1,554
2015年	2,270	2,345	3,386	1,751	1,402
2020年	1,910	2,016	2,810	1,452	1,116

### <団体経営体>

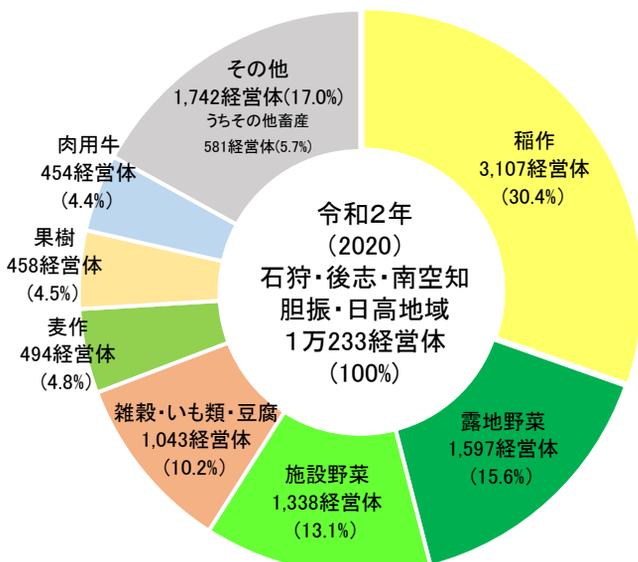
	石狩	後志	南空知	胆振	日高
2010年	245	138	297	203	476
2015年	277	162	330	200	443
2020年	265	187	364	200	410

### <農業経営体計>

	石狩	後志	南空知	胆振	日高
2010年	3,002	2,896	4,335	2,239	2,030
2015年	2,547	2,507	3,716	1,951	1,845
2020年	2,175	2,203	3,174	1,652	1,526

資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

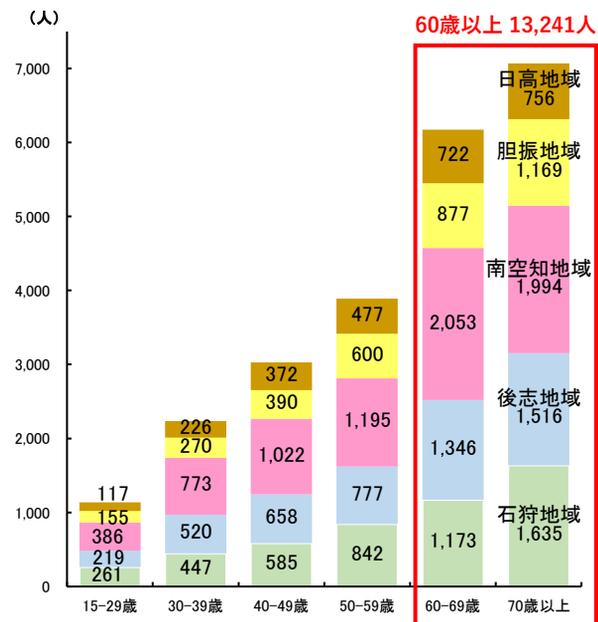
## 農産物販売金額1位の部門別経営体数割合



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

## 年齢別農業従事者数(個人経営体)

\* 令和2(2020)年 農業従事者数 計23,533人

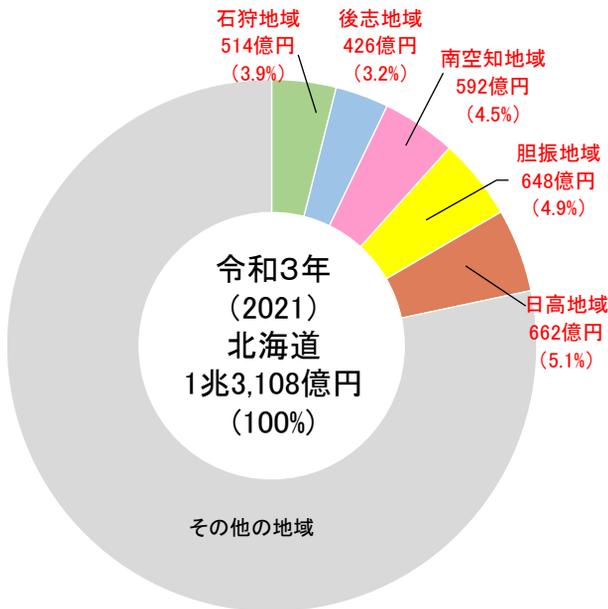


資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

## 農業産出額（1）

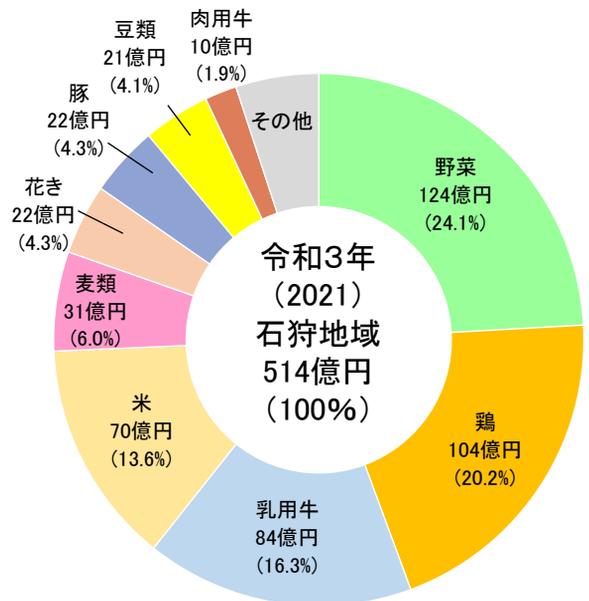
- 農業産出額は2,842億円（石狩：514億円、後志：426億円、南空知：592億円、胆振：648億円、日高：662億円）で、北海道の21.7%（同：3.9%、同：3.2%、同：4.5%、同：4.9%、同：5.1%）を占めている。
- 品目別農業産出額では、野菜の産出額が高く、主な主要農作物である米（水稻）を合わせると、石狩地域は約4割、後志地域は約5割、南空知地域は6割以上を占めている。

### 農業産出額の割合



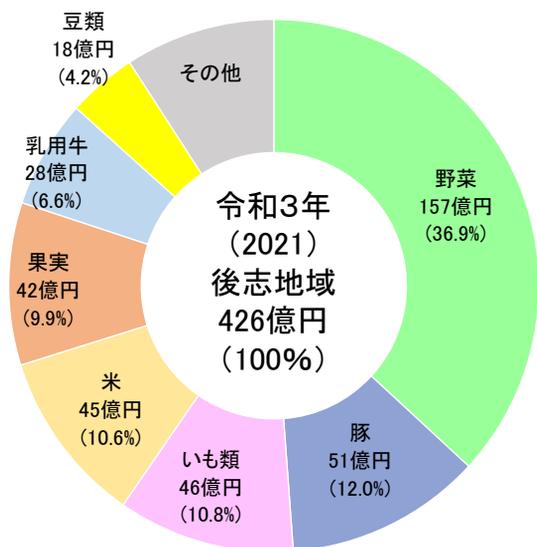
資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」

### 「石狩地域」品目別農業産出額の割合



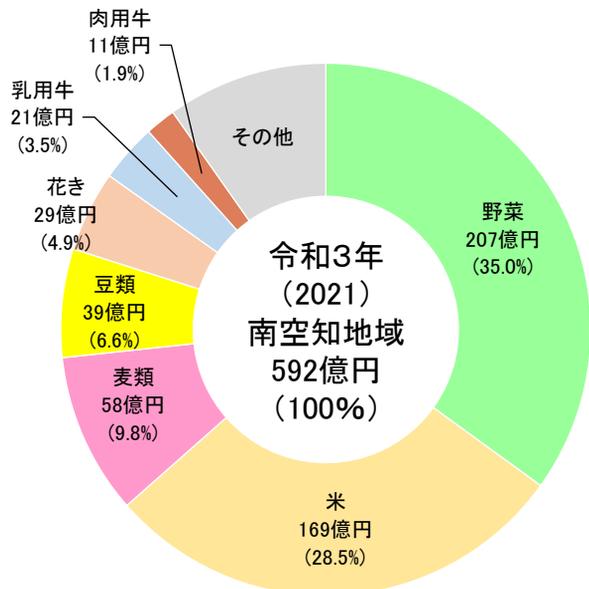
資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」  
 注1：その他には、雑穀・いも類・果実・工芸農作物・その他作物・その他畜産物が含まれている。  
 注2：鶏は鶏卵、ブロイラー、廃鶏等である（以下同じ）。

### 「後志地域」品目別農業産出額の割合



資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」  
 注1：その他には、麦類・雑穀・花き・工芸農作物・その他作物・肉用牛・鶏・その他畜産物が含まれている。

### 「南空知地域」品目別農業産出額の割合

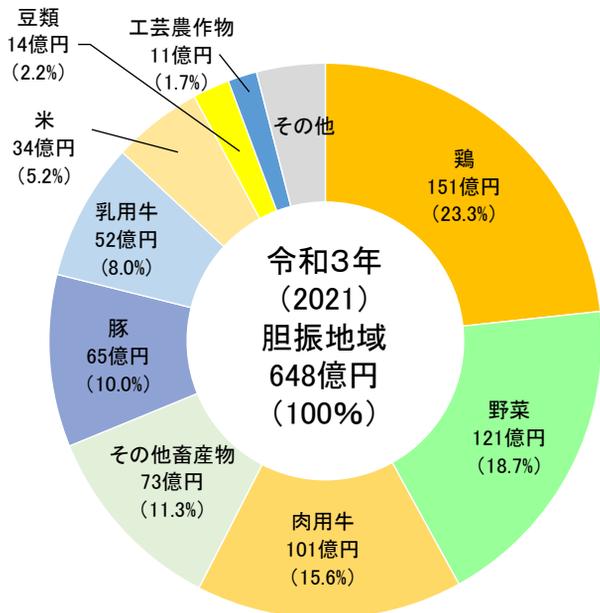


資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」  
 注1：品目別農業産出額の値は、南空知地域の市町村を合算したものである（秘匿措置が講じられている市町村を除いている。）  
 注2：その他には、雑穀・いも類・果実・工芸農作物・その他作物・豚・鶏・その他畜産物が含まれている。

## 農業産出額（2）

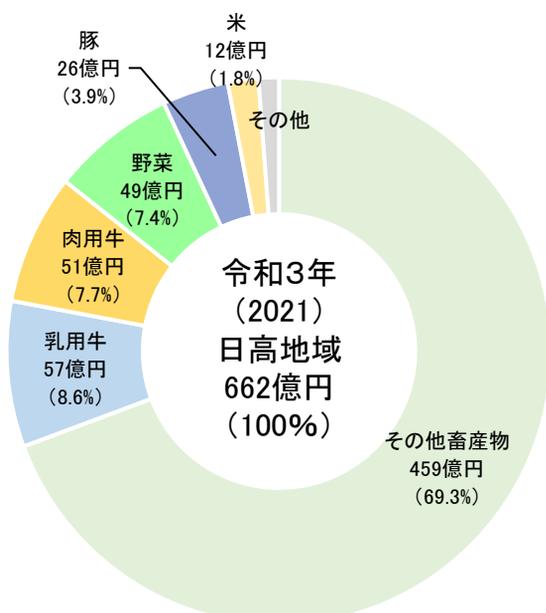
- 胆振地域、日高地域における品目別農業産出額では、畜産物が大きな割合を占めている。胆振地域は、鶏、肉用牛、乳用牛、豚を合わせて約半分を占めている。日高地域は、乳用牛、肉用牛、豚、その他畜産物を合わせて過半を占めている。
- 農業産出額の多い市町村は、岩見沢市（道内17位）、新ひだか町（道内18位）、日高町（道内19位）、千歳市（道内31位）、新冠町（道内32位）の順となっている。

### 「胆振地域」品目別農業産出額の割合



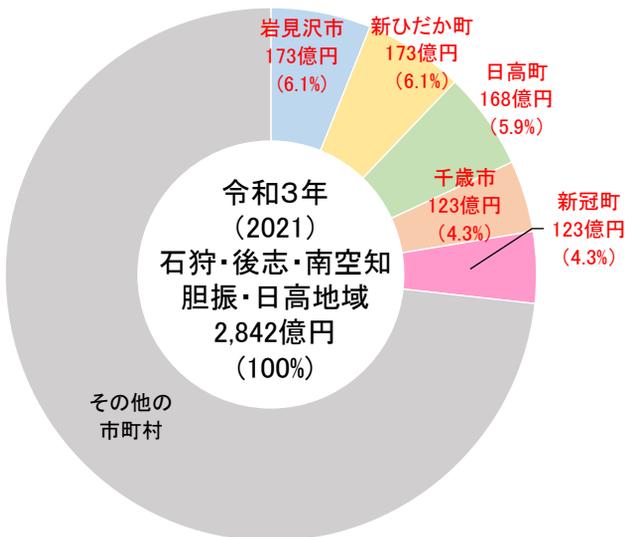
資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」  
 注1：その他には、麦類・雑穀・いも類・果実・花き・その他作物が含まれている。  
 注2：その他畜産物は、軽種馬等である。

### 「日高地域」品目別農業産出額の割合



資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」  
 注1：その他畜産物は、軽種馬等である。  
 注2：その他には、麦類・雑穀・豆類・いも類・果実・花き・工芸農作物・その他作物・鶏が含まれている。

### 市町村別の農業産出額割合



日高地域の軽種馬

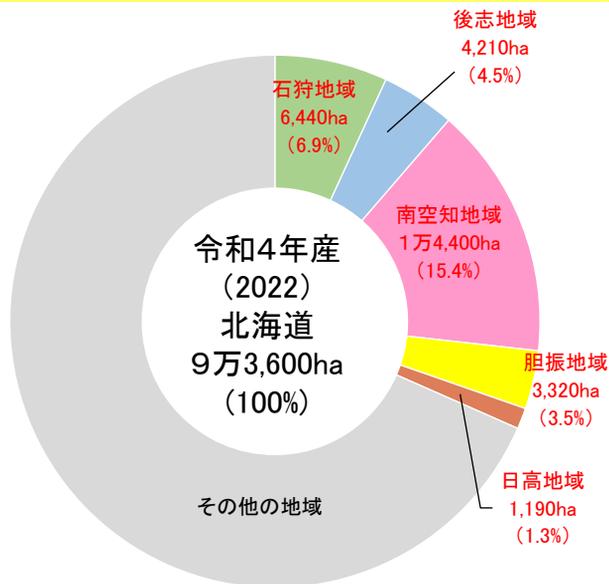
資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」

## 2 主要農畜産物の生産等の状況

### 水稲

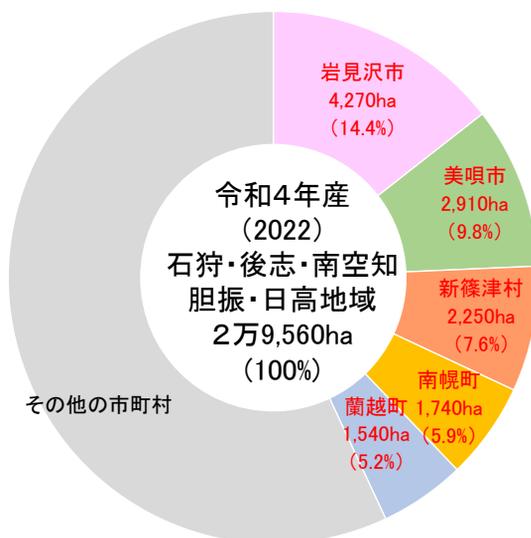
- ・作付面積は2万9,560ha（石狩：6,440ha、後志：4,210ha、南空知：1万4,400ha、胆振：3,320ha、日高：1,190ha）で、北海道の31.6%（同：6.9%、同：4.5%、同：15.4%、同：3.5%、同：1.3%）を占めている。
- ・市町村別の作付面積は、大きい順で、岩見沢市（道内3位）、美唄市（道内6位）、新篠津村（道内10位）、南幌町（道内17位）、蘭越町（道内20位）の順となっている。
- ・収穫量は16万7,710t（同：3万7,600t、同：2万3,300t、同：8万2,900t、同：1万7,700t、同：6,210t）で、北海道の30.3%（同：6.8%、同：4.2%、同：15.0%、同：3.2%、同：1.1%）を占めている。
- ・令和4年産水稲の作付面積は、前年産に比べて石狩（270ha減少）、後志（140ha減少）、南空知（1,600ha減少）、胆振（40ha減少）、日高（30ha減少）の全ての地域で減少。

#### 作付面積の割合



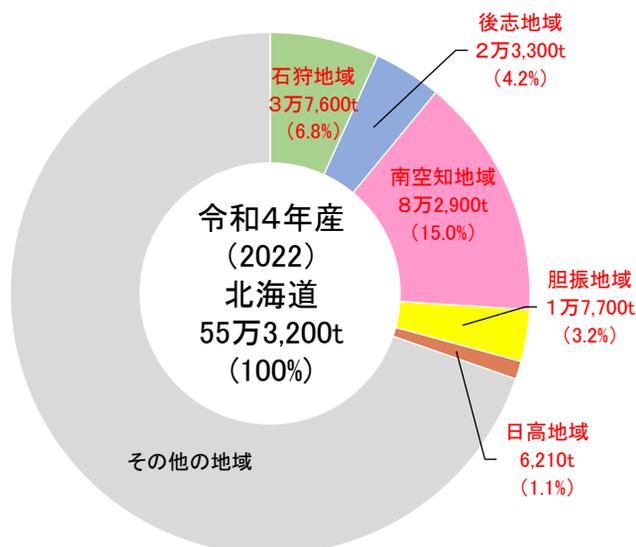
資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」

#### 市町村別の作付面積割合



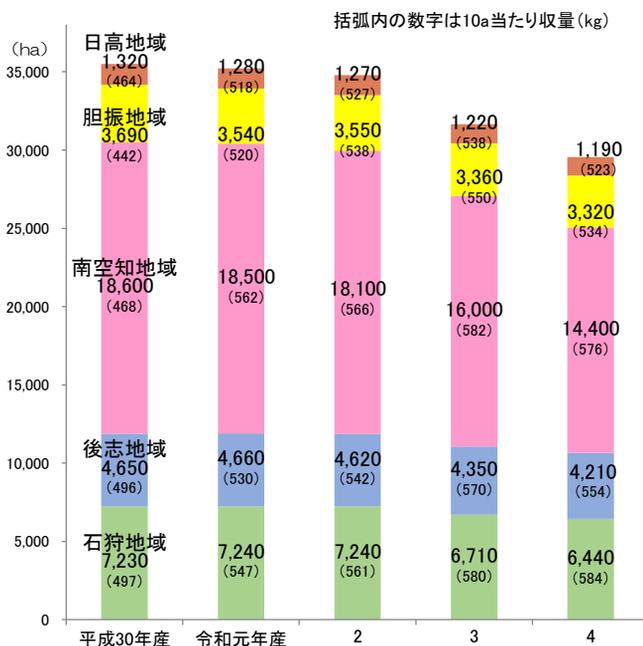
資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」

#### 収穫量の割合



資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」

#### 作付面積・10a当たり収量の推移

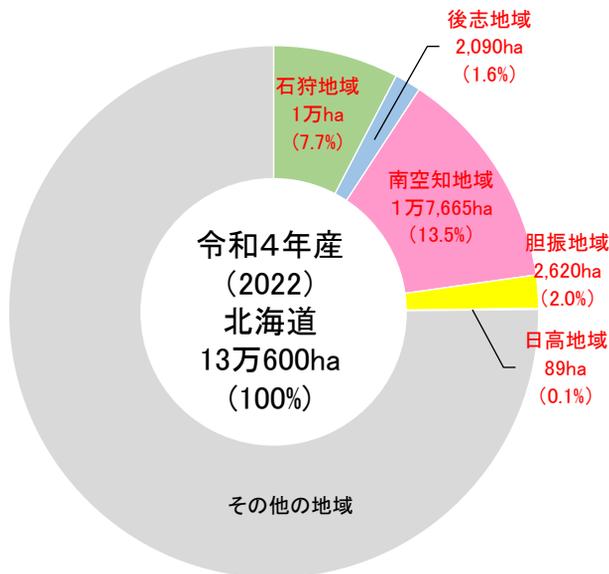


資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」

## 小麦

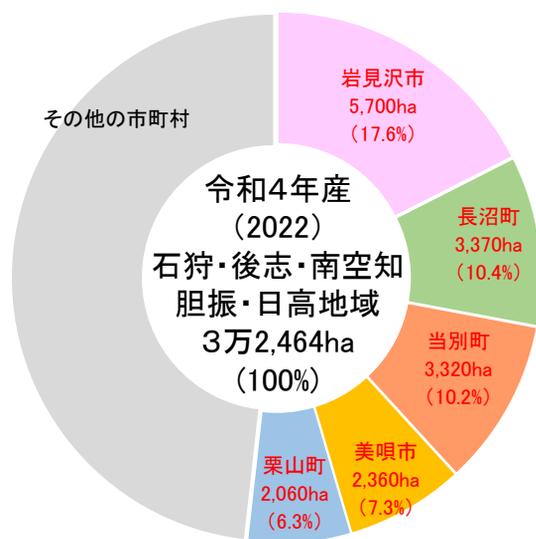
- 作付面積は3万2,464ha（石狩：1万ha、後志：2,090ha、南空知：1万7,665ha、胆振：2,620ha、日高：89ha）で、北海道の24.9%（同：7.7%、同：1.6%、同：13.5%、同：2.0%、同：0.1%）を占めている。
- 市町村別の作付面積は、大きい順で、岩見沢市（道内4位）、長沼町（道内9位）、当別町（道内10位）、美幌市（道内18位）、栗山町（道内23位）の順となっている。
- 収穫量は14万565t（同：4万2,900t、同：8,080t、同：7万9,751t、同：9,620t、同：214t）で、北海道の22.9%（同：7.0%、同：1.3%、同：13.0%、同：1.6%、同：0.03%）を占めている。
- 令和4年産小麦の作付面積は、前年産に比べて石狩（370ha増加）、後志（100ha増加）、南空知（1,203ha増加）、胆振（240ha増加）、日高（19ha増加）の全ての地域で増加。

### 作付面積の割合



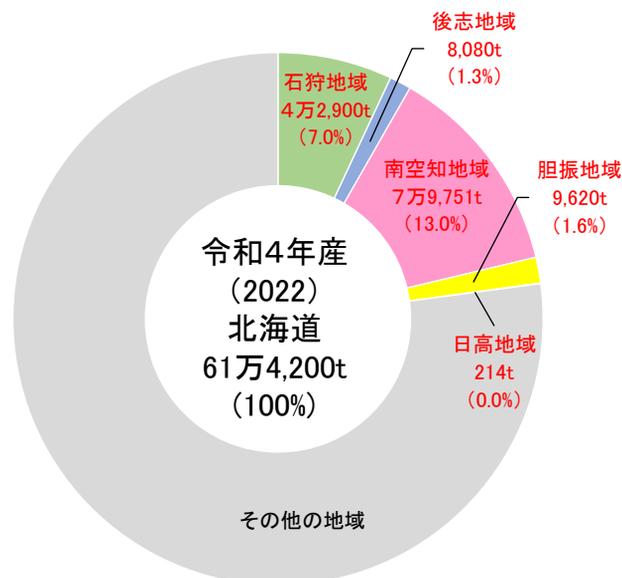
資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」

### 市町村別の作付面積割合



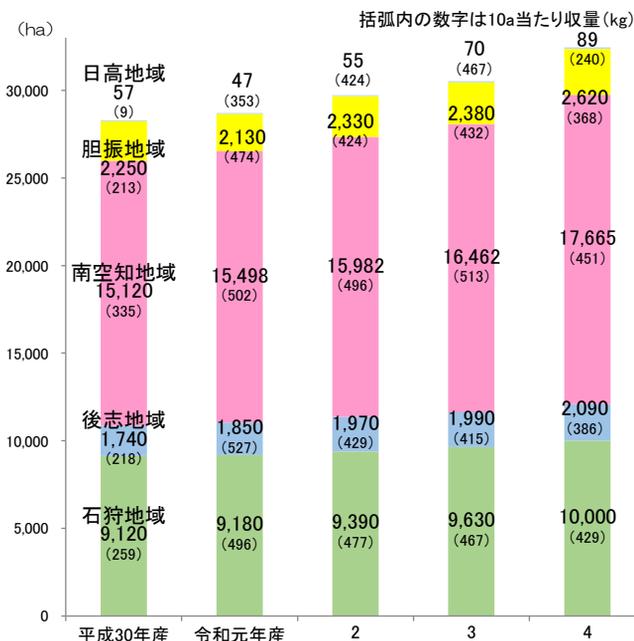
資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」

### 収穫量の割合



資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」

### 作付面積・10a当たり収量の推移

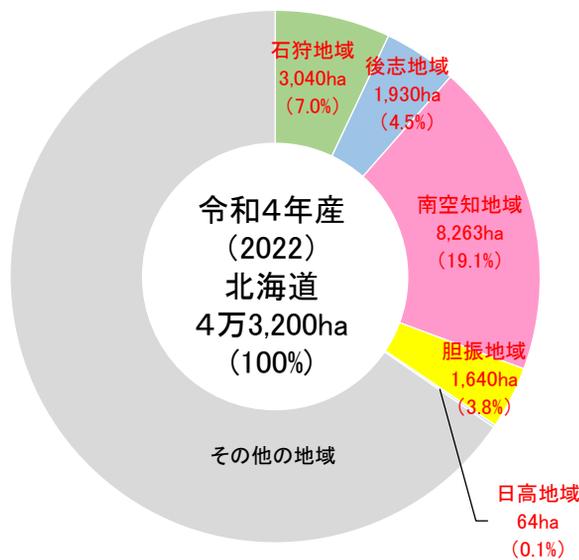


資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」  
注：南空知地域における10a当たり収量は、「農林水産関係市町村別統計」で公表されている各市町村の数値を合算し、除したものである。

## 大豆

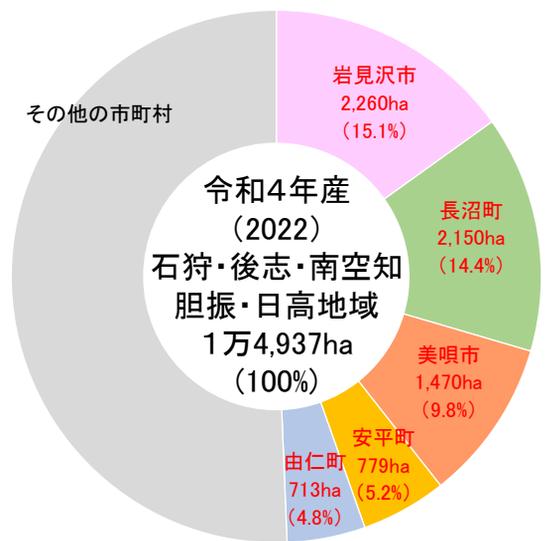
- 作付面積は1万4,937ha（石狩：3,040ha、後志：1,930ha、南空知：8,263ha、胆振：1,640ha、日高：64ha）で、北海道の34.6%（同：7.0%、同：4.5%、同：19.1%、同：3.8%、同：0.1%）を占めている。
- 市町村別の作付面積は、大きい順で、岩見沢市（道内3位）、長沼町（道内4位）、美唄市（道内6位）、安平町（道内12位）、由仁町（道内16位）の順となっている。
- 収穫量は3万7,480t（同：8,210t、同：4,070t、同：2万1,121t、同：3,930t、同：149t）で、北海道の34.4%（同：7.5%、同：3.7%、同：19.4%、同：3.6%、同：0.1%）を占めている。
- 令和4年産大豆の作付面積は、前年産に比べて石狩（80ha増加）、南空知（42ha増加）、胆振（70ha増加）、日高（27ha増加）の4地域で増加し、後志は変化がなかった。

### 作付面積の割合



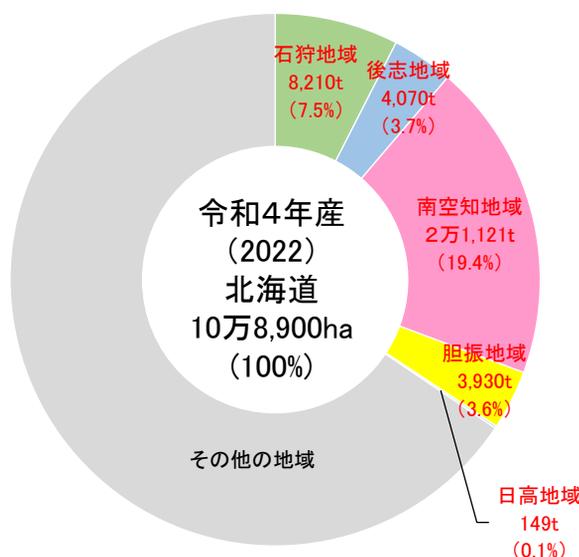
資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」

### 市町村別の作付面積割合



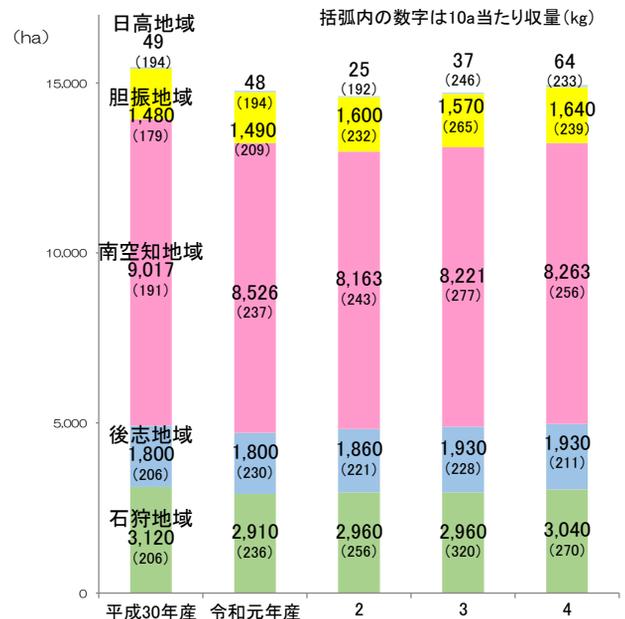
資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」

### 収穫量の割合



資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」

### 作付面積・10a当たり収量の推移

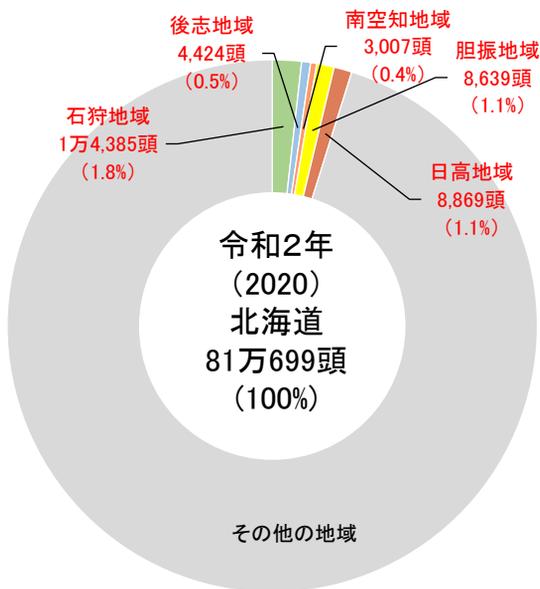


資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」  
注：南空知地域における10a当たり収量は、「農林水産関係市町村別統計」で公表されている各市町村の数値を合算し、除したものである。

## 乳用牛

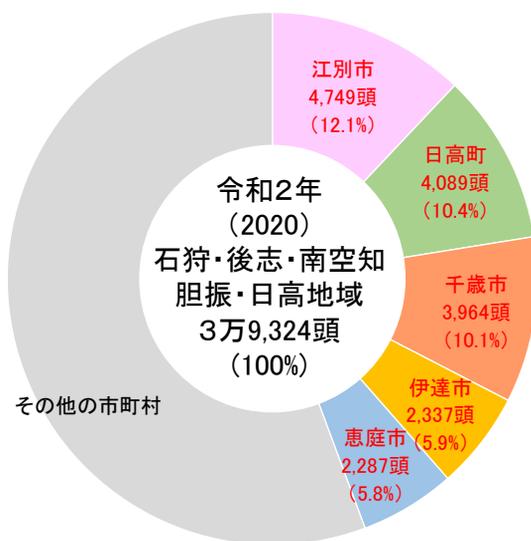
- 飼養頭数は3万9,324頭（石狩：1万4,385頭、後志：4,424頭、南空知：3,007頭、胆振：8,639頭、日高：8,869頭で、北海道の4.9%（同：1.8%、同：0.5%、同：0.4%、同：1.1%、同：1.1%）を占めている。
- 市町村別の飼養頭数は、大きい順で、江別市、日高町、千歳市、伊達市、恵庭市の順となっている。
- 牧草専用地の面積は3万4,420ha（同：4,559ha、同：3,181ha、同：1,220ha、同：6,961ha、同1万8,499ha）で、北海道の8.3%（同：1.1%、同：0.8%、同：0.3%、同：1.7%、同：4.4%）を占めている。
- 2020年の1経営体当たり飼養頭数は、10年前の2010年と比べて石狩（42頭増加）、後志（14頭増加）、南空知（3頭増加）、胆振（18頭増加）、日高（14頭増加）の全ての地域で増加している。

### 飼養頭数の割合



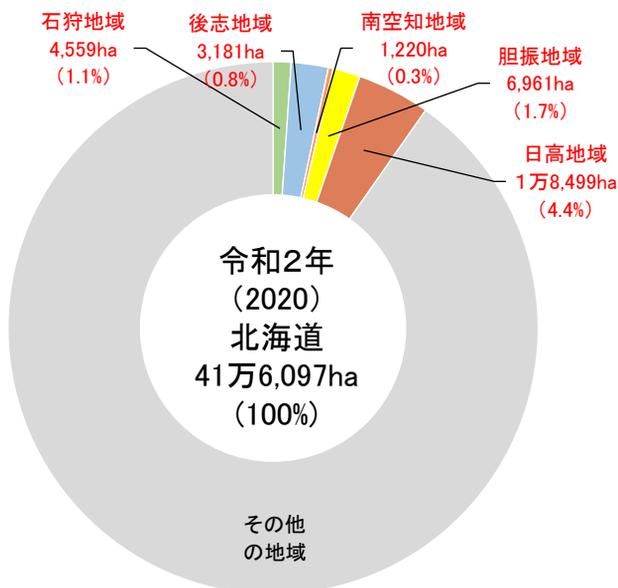
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

### 市町村別の飼養頭数



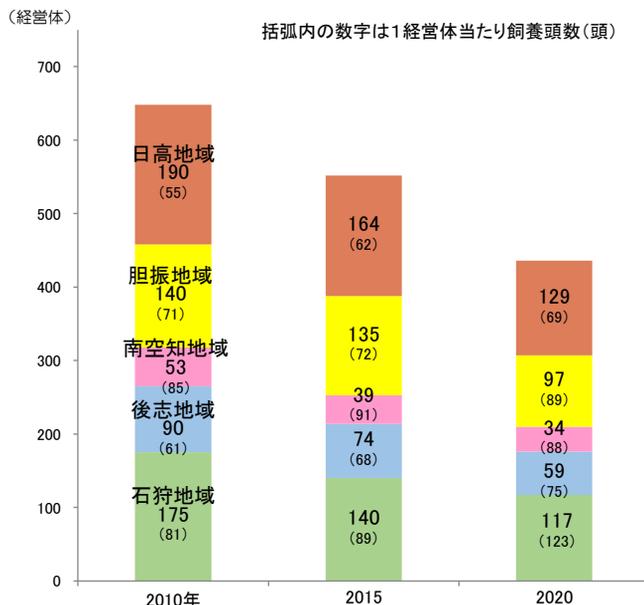
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

### 牧草専用地面積の割合



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

### 飼養経営体数・1経営体当たり飼養頭数の推移



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」  
注：1経営体当たり飼養頭数は、「農林業センサス」の乳用牛飼養経営体数と飼養頭数により算出している。

## 第3 地域の取組事例

## 1 未利用資源の活用

江別市



【移動販売を行っているキッチンカー】



【こだわりメニュー掲載チラシ】

規格外品をメニューに活用し、フードロスを削減  
【FOODTRUCK dazzling】

FOODTRUCK dazzling代表の大井川さんは、両親が経営する農場で、規格外のため市場に出荷されずに放置されているにんじんなどを見て、「もったいない、何かに活用すべき！」との感情をずっと持っており、これらを活用ができないかと考えていたことから、自身が長年パン屋に勤めていた経験を活かし、規格外野菜を活用したハンバーガーなど試行錯誤を重ねて商品化しました。

その商品を販売するべく不足する資金をクラウドファンディングにより調達し、キッチンカーで移動販売を始めました。

農産物の規格外品が相当数廃棄されている実情について、移動販売時にお客様へ農産物の規格外品が相当数廃棄されている実情を周知するとともに、SNS等で多くの人に発信するほか、移動販売で使用する規格外野菜の種類を広げメニューを増やすことを通じて、農産物の廃棄ロスの削減や地域の活性化につなげていきたいとしています。

## 2 農福連携・バイオマス

石狩市



【ふれあいきのこ村管理棟】



【菌床に生えているシイタケ】

ごみ焼却施設の排熱を利用した農福連携の取組  
【社会福祉法人 はるにれの里 ふれあいきのこ村】

昭和62年、社会福祉法人はるにれの里が厚田村（現石狩市厚田区）に設立した障がい者支援施設において、入所から地域生活に移行する利用者の働く場所を模索していたところ、石狩市が設置していたごみ焼却施設の排熱を他事業に利用できないかという話しが持ち上がり、地域の元気な高齢者と施設利用者が継続的に支援を受けながら働ける施設として「ふれあいきのこ村」を開設。

ごみ焼却施設の排熱を利用して菌床シイタケ栽培を始めたが、当初廃棄していた菌床を乾燥後、木質ペレットに加工し暖房用燃料に利用することで、資源を有効利用しています。

今後は、菌床シイタケ栽培の品質や収益向上のため、有機JAS、ノウフクJAS、JGAPなどの認証取得を目指しています。

## 3 食育と地域振興

## 北広島市



【小学生による稲刈り】

### 北海道米のルーツ「赤毛」の保存・栽培 【北広島商工会「きたひろしま開拓プロジェクト委員会」】

北広島市は寒地稲作発祥の地と呼ばれており、その際に栽培されたお米の品種である「赤毛」を使って、さまざまな地域おこしの取組が行われています。

北広島市水稻赤毛種保存会では、北海道を代表する品種である「ゆめぴりか」、「ななつぼし」の先祖である「赤毛」の保存・栽培に取り組んでおり、市内の小学生による「赤毛」の田植え・稲刈りを毎年行っています。

北広島商工会「きたひろしま開拓プロジェクト委員会」では、農業者等と協力し、「赤毛」の復活栽培や加工品の企画・開発等も行っており、地域全体で連携した取組や活動が評価され、令和3年には農林水産省主催の第8回「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」アワードで特別賞を受賞し、令和4年にはNPO法人北海道遺産協議会によって「北海道遺産」に選定されました。



【収穫間近の赤毛種のほ場】

## 4 地産地消・再生可能エネルギー

## 蘭越町



【もみ殻燃料棒】

### もみ殻の有効活用で再生可能エネルギーの地産地消を目指す 【蘭越町】

蘭越町は、米の収穫後に廃棄物となっていたもみ殻の有効活用と冬季の農業収入確保を目的として、「もみ殻熱利用実証プロジェクト推進事業」を実施しています。

町内の米農家から回収したもみ殻を、専用の機械を使い10分の1に圧縮して薪状の燃料棒を製造。製造した燃料棒は、冬季の野菜実証栽培を行っているビニールハウス内を加温するボイラーの燃料として使用するほか、家庭・レジャー用として、町内の「道の駅」等で販売しています。

この燃料を使用して栽培された野菜は、道の駅や町内外のスーパーなどに出荷・販売されるほか、町内の学校給食にも提供されています。



【実証栽培を行うビニールハウス】

## 5 国産乳製品等競争力強化

ニセコ町



【ニセコチーズ工房（外観）】



【工房内にある直売所の販売棚】



【コンテストの表彰状】

### 人とのつながりと創意工夫でブランドの確立を目指す 【ニセコチーズ工房】

平成17年にニセコ町曾我地区に開設された「ニセコチーズ工房」。開設後は5年ほどかけて販路の拡大に努めていましたが、製造や販売を続ける傍ら国内外のコンテストに出品し、受賞したこと等から知名度が上昇。開設時に想定していた規模以上の売上げとなり、販売商品に欠品等が生じることも増えてきたことから、手狭となった作業スペースの確保や製造量の増大を図るため、国産乳製品等競争力強化対策事業を活用して、令和2年6月に現在地（同町近藤地区）に新たな工房を設立しました。

新工房では、これまでの約1.8倍のチーズ製造ができることや集乳ルート上の牧場から集まる生乳の質が確認できるため、「さらに質の良い高品質なチーズ作りを実現させることができるのではないか。」と2代目オーナーの近藤裕志氏は話しています。

地域風土に調和した独自のチーズを作り、地域の方々と協力しながら地域を盛り上げることを目指して、更なる探求を続けています。

## 6 飼料自給率の向上

長沼町 他

### 子実用とうもろこし生産の有効性を発信 【北海道子実コーン組合】

日本の濃厚飼料自給率は13%（令和4年度（概算値））と低く、配合飼料の過半を占める「とうもろこし」は、米国及びブラジルからの輸入に依存している現状です。

柳原孝二氏（現組合代表）は国産濃厚飼料増産のため、平成24年に子実用とうもろこしの生産を開始。その後、品種改良により栽培期間が短縮されたことと収穫機の能力が向上したことにより、北海道での栽培体系が確立されたため、平成27年3月に柳原氏ら南空知の生産者が中心となり、栽培支援や有利販売を目的とした「北海道子実コーン組合」を設立しました。

収穫作業実演やシンポジウムを開催し、子実用とうもろこしの作付拡大を図るとともに、国産濃厚飼料の自給率向上に寄与しています。

子実用とうもろこしは、根を深く張ることからほ場の排水改善効果が高くなり、次年度に作付けする小麦や大豆等の輪作作物では収量が増加しています。

また、子実用とうもろこしを給与した高級卵やブランド豚肉等畜産物のブランド化に寄与するなど多方面で有益性が実証されています。



【収穫に利用される汎用コンバイン】



【収穫された子実用とうもろこし】

## 7 農業技術対策

岩見沢市 他

小麦・大豆に水稲直播栽培を加えた「空知型輪作」の構築  
【JAいわみざわ水稲直まき研究会】

【水稲直播は種作業】

稲作地帯である南空知地域は、生産者の高齢化・後継者不足から担い手への農地集積が進んだ結果、小麦・大豆の転作が大きな割合を占めるようになり、規模拡大に伴う労働力不足と小麦・大豆の連作・交互作による連作障害が要因の収量低下が大きな課題となっていました。JAいわみざわの生産者は、打開策として当初畑作輪換を取り入れましたが、慣行移植栽培の水稲作付け後のほ場は、土壌の碎土性等の問題から畑作物の栽培には適さず、また、経済的な問題もあり、普及しませんでした。

このため、平成21年に、畑状態のまま栽培できる乾田直播や代かき後には種する湛水直播の導入による「空知型輪作体系」の確立・普及を目指し、「JAいわみざわ水稲直まき研究会」を設立しました。

空知型輪作体系の導入により、病虫害や雑草の発生を抑えられ小麦や大豆では収量が増加し、畑作物を植えた後のほ場での水稲作では、肥料が削減できコストが低減されました。



【小麦収穫作業】

## 8 農福連携・有機農業

壮瞥町

自然を生かし大切に作る有機農業と農福連携  
【合同会社自然農業社】

【大豆収穫作業】

代表の小田さんは、就農前から環境問題に関心があり、農業を始めるなら有機農業に取り組みたいと思い、平飼養鶏と有機農業、農福連携を行っている会社に就職しました。約10年間有機農業、農福連携を学んだ後、就職先の畑作部門を引き継ぐ形で独立し、「合同会社自然農業社」を設立し就労支援A事業所として登録しました。

利用者個々の技能適正に合わせた作業を提供することや、冬季間の作業を確保し利用者の賃金向上を実現することにより利用者の自立を支援するため、豆類の選別作業や大根の加工（切り干し大根）に取り組んだ結果、安定した利益が見込めるようになりました。

有機農業は、気象条件や害虫の大量発生により特定の農産物に与える影響が大きいため、多種多様な農産物を生産することで、リスクの分散を図り、自然の中で無理なく育てられる有機農産物を生産しています。



【大豆収穫作業】

## 9 新規就農

## 石狩市



【農園を営む佐々木洋実さん】

### 廃棄を減らすため、6次産業化に挑戦 【石狩みのりファーム】

石狩みのりファームの佐々木洋実さんは、専門学校や飲食業で働いていましたが、子供が小学生になったタイミングで転職を決意。「自分で経営したい」「長く働きたい」「ものづくりをしたい」との希望に合致したことから、就農を決めました。

生まれ育った石狩市の農業総合支援センターで2年間ミニトマトに特化した農作業や農業簿記などを学び、第三者継承により2021年4月に就農し石狩みのりファームを設立しました。

石狩みのりファームではミニトマトとブロッコリーを栽培しています。また、農業総合支援センターでの研修時にミニトマトの実割れが発生し、大量の廃棄がでた経験から、加工品に生かすことはできないかを考え前職の経験を生かして2022年6月にジェラートを開発し、パッケージにも工夫を凝らして商品化しました。

現在、石狩市のふるさと納税の返礼品に採用されています。

【ジェラートの説明をする  
佐々木さん】

## 10 特別栽培農産物

## 恵庭市



【イタリアンパセリの収穫】

### 環境にやさしい生産で各種取組を展開 【有限会社余湖農園】

有限会社余湖農園では、60品目以上の作物を育てていますが、その多くが北海道での農薬・化学肥料の栽培基準の半分以下で栽培した特別栽培農産物となっています。また北海道での農薬・化学肥料の栽培基準の半分以下で栽培しています。生産したトマト等を使った加工品の製造・販売を行っており、恵庭市のふるさと納税の返礼品にも選ばれ、人気の返礼品となっています。

また、JGAP認証の取得や農福連携に取り組む他、収穫体験、加工体験、食育活動の受け入れ等の幅広い活動により、地域に貢献しています。



【トマトジュースと人参ジュース】

## 11 農を活用した医療、福祉との連携

浦河町



【バリアフリー馬車会の様子】



【馬とのふれあい】

馬産地として培った乗馬療育の新たな可能性に挑戦  
【うらかわ乗馬療育ネットワーク】

乗馬療育（ホースセラピー）は、馬に乗った時の揺れやリズムが人の歩行運動に近いことから、障害者（児）等のリハビリの手法として欧米で普及していました。

浦河町でも、約20年前から取り組まれていましたが、平成27年、さらなる普及・発展を目的として、高齢者並びに障害児を対象とした乗馬療育の実施団体、利用者、医療機関、行政および福祉事業者などが連携し、うらかわ乗馬療育ネットワークが設立されました。

アニマルセラピーの一環としての乗馬療育に、姿勢・歩き方の改善やストレスの軽減など身体的な効果があることを実証するとともに、乗馬療育に係わる従事者の増加により、地域雇用の創出にも貢献しています。

人と馬、地域の共生を  
めざして

うらかわ乗馬療育ネットワーク ロゴ

## 12 農山漁村活性化

日高町



【フルーツほおずきのほ場】

「日高フルーツほおずき」を通じた地域活性化  
【沙流太（さるふと）ほおずき絆の会】

日高町富川東の町内会会員12名で構成する「沙流太（さるふと）ほおずき絆の会」は、食用としては珍しいフルーツほおずきの生産等を行っています。

フルーツほおずきは、ビタミンAや鉄分等が豊富に含まれていることから、美容や健康に良いと言われており、フルーティーな甘さと特徴的な酸味が加わった独特の味で、生食用やドライ加工品、冷凍品として町内の道の駅などで販売されています。

現在、栽培面積は7aと小さいですが、日高町の特産品として町内外から注目を浴びており、町内の高校も栽培等で活動に参加するなど、フルーツほおずきで町おこしを行っています。



【フルーツほおずき（成熟）】

## 市町村別の総土地面積、耕地面積、総人口等

市町村	総土地面積		耕地面積						総人口		世帯数		農業 経営体数	
	道内 シェア	道内 シェア	計	道内 シェア	田	道内 シェア	畑	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア
	km <sup>2</sup>	%	ha	%	ha	%	ha	%	人	%	戸	%	経営体	%
<b>石狩地域</b>	<b>3,540</b>	<b>4.2</b>	<b>40,800</b>	<b>3.6</b>	<b>21,100</b>	<b>9.5</b>	<b>19,700</b>	<b>2.1</b>	<b>2,380,011</b>	<b>46.3</b>	<b>1,308,313</b>	<b>46.7</b>	<b>2,175</b>	<b>6.2</b>
札幌市	1,121	1.3	2,510	0.2	177	0.1	2,330	0.3	1,959,512	38.1	1,096,729	39.1	388	1.1
江別市	187	0.2	7,040	0.6	4,360	2.0	2,680	0.3	119,169	2.3	59,389	2.1	335	1.0
千歳市	595	0.7	5,860	0.5	634	0.3	5,220	0.6	97,664	1.9	51,563	1.8	204	0.6
恵庭市	295	0.4	4,290	0.4	2,350	1.1	1,940	0.2	70,179	1.4	34,881	1.2	184	0.5
北広島市	119	0.1	1,940	0.2	436	0.2	1,500	0.2	57,351	1.1	28,198	1.0	102	0.3
石狩市	722	0.9	5,540	0.5	2,240	1.0	3,300	0.4	57,954	1.1	28,460	1.0	302	0.9
当別町	423	0.5	8,520	0.7	6,080	2.7	2,440	0.3	15,329	0.3	7,733	0.3	437	1.3
新篠津村	78	0.1	5,140	0.5	4,830	2.2	303	0.0	2,853	0.1	1,360	0.0	223	0.6
<b>後志地域</b>	<b>4,306</b>	<b>5.2</b>	<b>34,500</b>	<b>3.0</b>	<b>8,520</b>	<b>3.8</b>	<b>25,900</b>	<b>2.8</b>	<b>194,552</b>	<b>3.8</b>	<b>108,992</b>	<b>3.9</b>	<b>2,203</b>	<b>6.3</b>
小樽市	244	0.3	182	0.0	17	0.0	165	0.0	108,548	2.1	61,411	2.2	57	0.2
島牧村	437	0.5	297	0.0	33	0.0	264	0.0	1,312	0.0	763	0.0	29	0.1
寿都町	95	0.1	267	0.0	18	0.0	249	0.0	2,738	0.1	1,632	0.1	8	0.0
黒松内町	346	0.4	3,390	0.3	175	0.1	3,220	0.4	2,612	0.1	1,446	0.1	46	0.1
蘭越町	450	0.5	3,970	0.3	2,930	1.3	1,040	0.1	4,493	0.1	2,345	0.1	245	0.7
二七〇町	197	0.2	2,690	0.2	628	0.3	2,060	0.2	5,088	0.1	2,717	0.1	132	0.4
真狩村	114	0.1	3,000	0.3	14	0.0	2,990	0.3	1,937	0.0	953	0.0	125	0.4
留寿都村	120	0.1	2,390	0.2	1	0.0	2,390	0.3	1,886	0.0	1,027	0.0	91	0.3
喜茂別町	189	0.2	1,220	0.1	1	0.0	1,220	0.1	1,988	0.0	1,175	0.0	80	0.2
京極町	231	0.3	2,510	0.2	28	0.0	2,480	0.3	2,844	0.1	1,448	0.1	82	0.2
倶知安町	261	0.3	4,510	0.4	925	0.4	3,580	0.4	15,636	0.3	8,961	0.3	176	0.5
共和町	305	0.4	5,100	0.5	2,570	1.2	2,540	0.3	5,508	0.1	2,750	0.1	318	0.9
岩内町	71	0.1	348	0.0	162	0.1	186	0.0	11,343	0.2	6,451	0.2	25	0.1
泊村	82	0.1	0	0.0	-	-	0	0.0	1,498	0.0	872	0.0	1	0.0
神恵内村	148	0.2	2	0.0	0	0.0	2	0.0	782	0.0	458	0.0	-	-
積丹町	238	0.3	828	0.1	0	0.0	828	0.1	1,824	0.0	1,033	0.0	23	0.1
古平町	188	0.2	80	0.0	48	0.0	32	0.0	2,720	0.1	1,656	0.1	12	0.0
仁木町	168	0.2	1,480	0.1	703	0.3	778	0.1	3,128	0.1	1,678	0.1	304	0.9
余市町	141	0.2	1,420	0.1	72	0.0	1,350	0.1	17,561	0.3	9,584	0.3	361	1.0
赤井川村	280	0.3	786	0.1	208	0.1	578	0.1	1,106	0.0	632	0.0	88	0.3

## 市町村別の総土地面積、耕地面積、総人口等（つづき）

市町村	総土地面積		耕地面積						総人口		世帯数		農業 経営体数	
	道内 シェア	道内 シェア	計	道内 シェア	田	道内 シェア	畑	道内 シェア	人	道内 シェア	戸	道内 シェア	経営体	道内 シェア
	km <sup>2</sup>	%	ha	%	ha	%	ha	%	人	%	戸	%	経営体	%
<b>胆振地域</b>	<b>3,697</b>	<b>4.4</b>	<b>34,100</b>	<b>3.0</b>	<b>9,340</b>	<b>4.2</b>	<b>24,800</b>	<b>2.7</b>	<b>373,212</b>	<b>7.3</b>	<b>204,261</b>	<b>7.3</b>	<b>1,652</b>	<b>4.7</b>
室蘭市	81	0.1	227	0.0	11	0.0	216	0.0	78,252	1.5	44,147	1.6	13	0.0
苫小牧市	562	0.7	1,240	0.1	-	-	1,240	0.1	168,299	3.3	90,867	3.2	51	0.1
登別市	212	0.3	1,030	0.1	0	0.0	1,030	0.1	45,226	0.9	24,132	0.9	36	0.1
伊達市	444	0.5	4,810	0.4	450	0.2	4,360	0.5	32,395	0.6	17,632	0.6	343	1.0
豊浦町	234	0.3	1,900	0.2	140	0.1	1,760	0.2	3,627	0.1	2,039	0.1	86	0.2
壮瞥町	205	0.2	1,480	0.1	310	0.1	1,170	0.1	2,362	0.0	1,287	0.0	121	0.3
白老町	426	0.5	1,230	0.1	-	-	1,230	0.1	15,721	0.3	9,308	0.3	53	0.2
厚真町	405	0.5	5,580	0.5	3,430	1.5	2,150	0.2	4,381	0.1	2,129	0.1	290	0.8
洞爺湖町	181	0.2	2,550	0.2	126	0.1	2,430	0.3	8,147	0.2	4,728	0.2	133	0.4
安平町	237	0.3	7,430	0.7	1,150	0.5	6,290	0.7	7,314	0.1	3,968	0.1	203	0.6
むかわ町	711	0.9	6,620	0.6	3,730	1.7	2,900	0.3	7,488	0.1	4,024	0.1	323	0.9
<b>日高地域</b>	<b>4,811</b>	<b>5.8</b>	<b>38,800</b>	<b>3.4</b>	<b>4,740</b>	<b>2.1</b>	<b>34,000</b>	<b>3.7</b>	<b>62,133</b>	<b>1.2</b>	<b>33,767</b>	<b>1.2</b>	<b>1,526</b>	<b>4.4</b>
日高町	992	1.2	9,430	0.8	1,060	0.5	8,380	0.9	11,315	0.2	6,287	0.2	312	0.9
平取町	743	0.9	4,660	0.4	1,540	0.7	3,120	0.3	4,594	0.1	2,411	0.1	233	0.7
新冠町	586	0.7	7,170	0.6	454	0.2	6,720	0.7	5,187	0.1	2,776	0.1	231	0.7
浦河町	694	0.8	5,450	0.5	243	0.1	5,210	0.6	11,694	0.2	6,688	0.2	253	0.7
様似町	364	0.4	1,030	0.1	97	0.0	936	0.1	3,983	0.1	2,088	0.1	60	0.2
えりも町	284	0.3	1,840	0.2	-	-	1,840	0.2	4,320	0.1	2,083	0.1	12	0.0
新ひだか町	1,148	1.4	9,170	0.8	1,340	0.6	7,820	0.9	21,040	0.4	11,434	0.4	425	1.2
<b>南空知地域</b>	<b>2,562</b>	<b>3.1</b>	<b>62,800</b>	<b>5.5</b>	<b>50,435</b>	<b>22.8</b>	<b>12,339</b>	<b>1.3</b>	<b>147,162</b>	<b>2.9</b>	<b>78,754</b>	<b>2.8</b>	<b>3,174</b>	<b>9.1</b>
夕張市	763	0.9	726	0.1	142	0.1	584	0.1	6,729	0.1	4,051	0.1	114	0.3
岩見沢市	481	0.6	19,700	1.7	16,300	7.4	3,360	0.4	76,753	1.5	41,021	1.5	881	2.5
美唄市	278	0.3	9,410	0.8	8,720	3.9	686	0.1	19,500	0.4	10,941	0.4	518	1.5
三笠市	303	0.4	1,340	0.1	543	0.2	801	0.1	7,722	0.2	4,564	0.2	67	0.2
南幌町	81	0.1	5,580	0.5	5,110	2.3	470	0.1	7,546	0.1	3,570	0.1	170	0.5
由仁町	134	0.2	5,850	0.5	4,020	1.8	1,840	0.2	4,783	0.1	2,347	0.1	316	0.9
長沼町	169	0.2	11,200	1.0	9,000	4.1	2,170	0.2	10,158	0.2	4,914	0.2	603	1.7
栗山町	204	0.2	5,920	0.5	3,990	1.8	1,930	0.2	11,107	0.2	5,783	0.2	332	1.0
月形町	150	0.2	3,110	0.3	2,610	1.2	498	0.1	2,864	0.1	1,563	0.1	173	0.5

資料：国土交通省国土地理院「令和5年全国都道府県市区町村別面積調」

農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計（令和4年）」、「2020年農林業センサス」

総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和5年1月1日）」

注1：南空知の計は、各市町の数値を単純に合算したものである。

注2：ラウンドの関係で、計と内訳は一致しない場合がある。

## 市町村別農業産出額（推計）

単位：1,000万円

市町村	農業産出額計		耕種										畜産						
	道内順位	道内順位	小計	米	麦類	雑穀	豆類	いも類	野菜	工芸農作物	その他作物	小計	道内順位	肉用牛	乳用牛	うち生乳	豚	鶏	その他畜産物

## 石狩地域

札幌市	613	72	255	75	2	3	0	1	3	202	0	46	358	65	2	99	76	x	250	x
江別市	831	58	494	33	83	48	0	45	12	277	9	1	337	69	27	292	239	x	6	x
千歳市	1,232	31	392	48	8	50	0	60	10	206	51	6	840	30	28	243	198	103	459	8
恵庭市	543	79	346	54	50	27	0	27	34	164	25	0	196	88	7	99	55	x	64	x
北広島市	490	85	112	104	13	2	0	4	6	79	1	7	378	63	12	65	54	x	259	x
石狩市	410	98	337	56	128	25	1	2	14	144	1	6	74	107	11	32	26	x	0	x
当別町	546	76	505	31	147	104	0	33	7	80	6	1	41	122	17	9	7	x	-	x
新篠津村	474	87	474	34	274	49	0	38	0	92	0	21	-	-	-	-	-	-	-	-

## 後志地域

小樽市	36	162	36	132	1	-	0	0	0	29	0	3	-	-	-	-	-	-	-	-
島牧村	9	171	6	152	2	-	1	0	0	4	-	0	3	158	3	-	-	-	-	-
寿都町	5	172	3	160	0	0	-	0	1	0	1	0	1	163	0	-	-	x	-	x
黒松内町	304	112	35	134	4	3	7	10	7	3	0	4	268	76	31	62	50	x	0	x
蘭越町	263	125	257	72	167	2	4	7	7	65	1	2	6	153	2	4	x	-	-	-
二セコ町	260	127	176	87	31	3	0	15	30	92	1	5	83	105	2	48	37	-	0	33
真狩村	460	90	325	57	1	6	0	28	66	190	17	0	135	95	6	57	48	x	-	x
留寿都村	353	104	259	71	0	4	-	20	66	151	18	0	94	104	5	5	x	x	-	x
喜茂別町	185	140	128	96	0	1	-	12	30	77	7	2	56	114	-	3	x	x	-	x
京極町	259	128	216	82	0	13	1	27	80	53	14	x	42	120	1	11	x	x	0	x
倶知安町	370	103	309	59	23	16	4	55	134	48	29	1	62	110	3	47	40	x	7	x
共和町	591	73	588	26	157	9	7	8	32	369	1	0	3	158	-	3	x	-	-	-
岩内町	18	168	9	147	8	0	0	0	0	1	0	0	9	147	0	9	8	-	-	-
泊村	0	173	0	170	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神恵内村	0	173	0	170	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
積丹町	35	164	27	136	-	-	1	1	1	25	0	0	8	149	1	7	x	-	0	-
古平町	24	167	5	157	1	-	0	0	0	3	-	0	20	140	-	-	-	x	0	x
仁木町	438	94	438	38	40	-	1	0	0	225	0	157	0	167	-	-	-	0	-	-
余市町	541	80	467	35	3	-	0	0	0	183	0	258	73	109	-	15	x	x	1	x
赤井川村	112	146	72	110	13	-	0	1	3	52	0	2	40	124	4	8	x	x	0	x

市町村別農業産出額（推計）（つづき）

単位：1,000万円

市町村	農業産出額計		耕種										畜産							
			小計		米	麦類	雑穀	豆類	いも類	野菜	工芸農作物	その他作物	小計			豚	鶏	その他畜産物		
	道内順位	道内順位	道内順位	肉用牛									乳用牛	うち生乳						
<b>南空知地域</b>																				
夕張市	299	113	299	62	1	1	0	0	0	296	0	x	-	-	-	-	-	-	-	
岩見沢市	1,732	17	1,674	5	566	182	2	112	4	685	19	105	59	112	1	53	46	-	1	3
美唄市	582	74	580	27	337	66	1	62	0	44	6	65	2	161	2	-	-	-	0	-
三笠市	232	133	130	95	20	5	0	5	0	90	0	1	102	102	2	11	x	x	-	x
南幌町	423	97	417	43	206	67	0	39	0	88	10	0	6	151	-	6	x	-	0	-
由仁町	546	76	434	40	156	57	0	37	10	129	21	2	112	100	11	89	70	x	11	x
長沼町	1,096	42	852	16	144	124	1	109	10	401	7	10	244	79	51	47	41	x	1	x
栗山町	672	70	559	29	144	64	1	15	1	296	2	37	113	99	20	-	-	x	10	x
月形町	340	107	307	60	113	13	0	15	0	39	3	124	33	129	26	6	6	-	-	1
<b>胆振地域</b>																				
室蘭市	58	157	3	160	0	-	-	0	0	2	0	x	55	115	3	15	x	-	-	37
苫小牧市	299	113	60	117	-	1	-	2	1	46	2	8	239	80	5	38	31	x	-	x
登別市	267	123	2	164	0	-	-	0	0	0	-	2	266	77	80	37	31	x	129	x
伊達市	1,103	41	412	44	20	4	0	10	6	332	25	3	691	41	36	146	121	x	460	x
豊浦町	497	84	63	115	2	2	0	2	5	47	3	3	435	59	90	68	58	276	0	-
壮瞥町	171	142	149	93	11	3	0	5	4	79	2	45	22	138	21	-	-	-	1	-
白老町	1,017	48	9	147	-	-	-	-	-	8	0	x	1,009	21	416	16	x	x	358	x
厚真町	796	60	293	65	140	15	0	35	9	62	18	2	503	51	41	37	31	x	412	x
洞爺湖町	509	83	218	80	5	3	0	17	30	137	21	2	292	72	83	23	21	x	0	x
安平町	1,014	49	256	74	26	33	1	47	5	98	32	15	758	34	132	115	93	x	146	x
むかわ町	742	64	593	24	132	9	1	19	13	398	7	15	150	93	101	25	16	0	1	23
<b>日高地域</b>																				
日高町	1,675	19	121	99	31	-	0	1	5	79	2	2	1,554	11	120	258	216	x	0	x
平取町	570	75	342	55	48	2	0	2	1	288	1	0	228	82	70	55	47	10	-	93
新冠町	1,228	32	52	121	14	0	1	0	0	36	0	1	1,176	16	98	150	131	x	-	x
浦河町	1,167	36	40	131	3	-	0	0	0	24	-	x	1,127	18	53	21	18	-	-	1,053
様似町	232	133	17	142	2	0	-	0	0	14	0	0	216	84	4	7	x	0	-	205
えりも町	26	166	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	132	18	4	x	0	-	3
新ひだか町	1,725	18	116	103	21	0	0	0	0	54	0	x	1,609	8	151	76	64	62	-	1,320

資料：農林水産省統計部「令和3年市町村別農業産出額（推計）」

注1：「市町村別農業産出額（推計）」は、都道府県別農業算出額を農林業センサス及び作物統計を用いて市町村別に按分して作成したものである。

注2：その他農作物は、果実、花き及び、その他農作物の計であり、秘匿措置が講じられている品目を除いて単純に合算したものである。